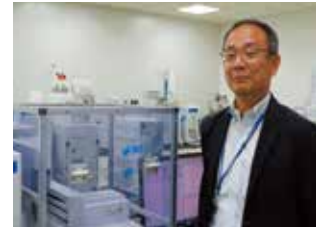


# 三菱ケミカルグループから株式譲渡で新しく生まれた 日東精工アナリテックへの大きな期待!

2020年4月から日東精工グループに日東精工アナリテックが加わりました。  
どんな事業を行っているのか、今後どんなシナジー効果が期待できるのか、  
同社代表取締役社長 石丸元国が紹介いたします。



製品を説明する石丸社長

### ～どんな会社でしょうか？

分析・計測機器を開発・製造販売しています。  
BtoB (企業間取引) 企業であり「分析・計測」という言葉だけでは、漠然としていて一般の方にはイメージしにくいかもしれませんが、当社の主力製品のひとつ「水分測定装置」はその名の通り、いろいろな物質の水分量を分析するものです。では、なんのために水分を分析するかといえば、薬を例に挙げるとわかりやすいでしょう。錠剤や粉剤には効能と飲みやすさを確保するために一定の水分が含まれています。ところが粉薬を小袋から出してそのままにしておくと、室内の湿気を吸って固まっていることがあります。そのような状態では飲みにくく、また当初の効能を果たさないかもしれません。製薬会社が製品を開発する段階、製造・供給する過程で品質と安全を確保することは極めて重要で、必須管理項目の一つである適正な水分量を確認する「水分測定装置」は欠かせないものです。

あるいは、石油やガソリンなどの燃料に不純物が含まれていると燃費が悪くなる、排気ガスとともに硫黄酸化物、窒素酸化物等の汚染物質を排出するといった問題を起こします。そういった不純物チェックのために、石油精製コンビナートなど

での品質試験管理室、ガソリンスタンドで販売されるガソリン

ン・灯油等の製品を検査するための登録分析機関などに設置されているのが「元素計」。この分野で当社は国内90%のシェアを誇っています。また半導体などの分野では「抵抗率測定装置」などが多数採用されています。最近では「SDGs」、サステナブル(持続可能)な社会ということで、環境意識も高まっていますが、工場排水や河川、湖沼などの水質調査にも当社製品が貢献しています。

各種製品に含まれる不純物や環境水中の汚染物質、あるいは電子・電気関係の製品や素材の電気の流れやすさ流れにくさなどが管理基準値内に収まっているかを測定・分析するシステムを構築することで、品質・工程管理や環境分析に役立っています。いわ



ば黒子として、社会の安全・安心をサポートします。

### ～どれくらいの測定濃度範囲の機器なのでしょう。

分野、製品によって求められる測定濃度はいろいろですが、1ppmから200ppmの範囲が多いです。ppm（ピーピーエム）は「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1を表す単位。大雑把ですが仙台市の人口が100万強ですから、仙台市に住む人のなから指定する個人（ひとり）を5～10分で特定できるといったイメージでしょうか。もちろん、測定濃度範囲・精度を高めていくことも大事ですが、お客様が何を求めているかを把握し、しっかり対応していくことが大事です。たとえば水分分析の場合、カール・フィッシャー法といって約85年前に発見された原理がその高精度により、そのまま今も使われていますが、一方で、ドラスティックな測定法が現れる可能性もあるわけです。新しいことをつくり出す、新しいものに対応する準備もしいといけません。

かつて大手メーカーでデータの改ざんという不幸なニュースが続いたことがあります。当社の現行モデルでは測定値を恣意的に変えられないようにして、ヒューマンエラーが起こらないように対応しています。開発、製造・販売だけでなくメンテナンスもしっかり行い、お客様との信頼関係を築きながら、随時、新製品をリリースしています（今年の7月に粉体の体積抵抗率を自動測定する「自動粉体測定システム低抵抗率版」を発売。そして12月には「自動滴定装置」、来年4月には「元素計」の新モデルをリリース予定）。

### ～日東精工グループに加わったことでの変化や今後のシナジー効果については？

もともと旧三菱化成の分析機器事業と旧三菱油化の受託分析事業、それぞれの事業から生まれた子会

社が2008年に株式会社三菱化学アナリテックとして統合、2017年に株式会社三菱ケミカルアナリテックに社名変更。そして、2020年、三菱ケミカル社から日東精工社への株式譲渡により、日東精工アナリテック株式会社に社名（商号）変更となりました。つまり今年の3月31日までは三菱ケミカルグループでした。水分計の事業などは三菱ケミカル社の試薬とセットにして営業展開をしていたのですが、今後も三菱ケミカルグループとの良好な関係は変わらず維持していきます。

もちろん、三菱・スリーダイヤのブランドがとくに海外での「信用」になっていた部分はありますが、現在のビジネスそのものは、長年に亘る人と人とのつながりと当社の技術と品質に対する信頼で築いてきたものです。今回の株式譲渡の件は、ほとんどの社員は2月末に初めて知り、4月には社名変更ということで膨大な作業を短時間で実施するなどかなり負担をかけ、戸惑いもあったと思います。しかし、皆が前向きにとらえてくれています。日東精工グループにおいては、当社売上は子会社のなかでトップクラス。それだけ期待値も影響力も大きいことだと責任を感じています。4月以降、コロナ禍の不自由もありましたが、これから日東精工社との多方面の交流などを通して、それぞれの強みを生かしながら、技術の底上げ、販売強化などにつなげていければと思っていますし、実際11月に幕張メッセで開催予定の最新先端化学・分析システム&ソリューション展「JASIS」に日東精工社製品の展示も予定しています。

これまでの企業理念は、三菱ケミカルグループ共通のものでしたが、現在、新たなものを構想・構築中です。日東精工社が「絆」そして「人財」を大事にしているように「人を育む（愛情を注いで成長させる）会社、仕事がさらさら流れる会社」をキーワードに検討しています。日東精工グループの一員として皆様よろしくお願ひいたします。

**会社概要:**「日東精工アナリテック株式会社」として、当社32社目のグループ会社として事業を開始。分析、計測機器の開発・製造を行うだけでなく、国内においては各都道府県、海外においては80か国における代理店を構え、お客様に安心してご使用いただける環境づくりに積極的に取り組んでいる。<https://www.n-analytech.co.jp>

## 子会社 日東公進がロボットビジョン搭載部品供給機を開発

子会社である日東公進は、省力化機械、電気・画像システムを得意技術とし、包装機器、検査装置、自動化装置を強みとして事業展開しています。今般、新たにロボットビジョンを搭載した部品供給機を開発・発売を開始いたしました。

ベルトコンベア上をランダムな姿勢で流れてくるワークを異品検査をした後、トレー詰めや袋包装をしたり、必要な部品だけを画像認識しロボットでピックアップしたりすることができる装置です。本製品は、日東精工グループにおける成長戦略の一環として、あらゆる分野における異品の選別や整列を自動

化するとともに、組付け装置やオプションの包装機との組み合わせによる組立・検査・袋詰め作業の省人化を実現するものです。

日東公進が長年培った袋詰め装置との組み合わせにより、指定された数量での袋詰めや封印シールはもちろんのこと、袋表面への印字や、重量検査も可能です。装置は、量一量分程度のコンパクト設計により、設置場所を選ぶことはありません。様々な装置との組み合わせにより拡張性に優れ、多彩な分野、用途に置いて品質向上、省人化、生産性の向上を支援します



## 中国現地法人である香港和光精工有限公司が、東莞和光汽車零配件有限公司を設立

当社連結子会社・香港和光精工有限公司は中国の広東省東莞市に新会社・東莞和光汽車零配件有限公司を設立し、業務を開始しました。中国市場での事業拡大を視野に入れ、当社グループのグローバル展開をさらに拡大させるものです。香港和光精工有限公司は2001年に設立。当社のねじや産業機械販売だけでなく、住宅機材、家電、自動車部品など、幅広い販売事業を展開しています。今般の新会社における業務開始は、中国で現地調達されるお客様にお応えしながら、

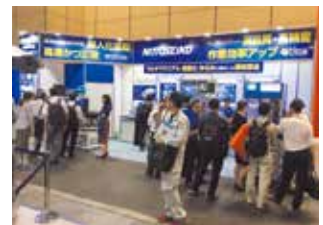
香港に近い利便性を活用し、部品供給をよりスピーディーに行うことを目的とし、中国南部地区での販売を強化するものです。



## 第23回 [関西] 機械要素技術展に出展を予定しています

当社では展示会をお得意様はもちろん、新しいお客様へ日東精工の技術力や潜在力をアピールし、またお客様の様々なご要望を直接お聞きする情報発信・受信の場ととらえています。新型コロナウイルス感染拡大により、残念ながら、これまで多くの展示会が延期や中止になっていますが、10月7日から9日までインテックス大阪で予定されている「関西機械要素技術展 (M-Tech関西)」については、コロナ対策を施しながら開催の方向で準備が進められています。当社ではこの専門展に新製品・新技術を

中心に出展し、ファスナー事業、産機事業、制御システム事業部、そして日東公進の連携で、「組立・検査分野のトータルソリューション」を訴求する予定です。今年よりリモート展示対応など新しい試みも取り入れていく計画ですので、ぜひご注目ください。



写真は昨年度のもの。新型コロナウイルスの状況で開催が延期になる場合もありますので、事前御確認ください



## 渋沢栄一から学べること

### 次

期「一万円札」に渋沢栄一の肖像画が採用されるのが決定しています。

渋沢は、幕臣として26歳のときに渡欧、明治政府に仕えたのちに実業界に専念。株式会社制度を導入し、第一国立銀行（日本最古の銀行・現在のみずほ銀行につながる）ほか、500以上の企業を興し、手形交換所や商工会議所を組織し、資本主義の父・近代経済の父と呼ばれた人物です。

某財閥の創始者が隅田川の川遊びに渋沢栄一を招き密談を計画したエピソードが『創業者百人百語』（谷沢永一著海竜社）という書籍で紹介されています。

明治11年、当時39歳の渋沢栄一は、明治6年に実業界入りしてわずか5年で、第一国立銀行を創立し頭取に就任。王子製紙、日本鉄道、大阪紡績、東京瓦斯、あらゆる分野に会社を興し、財界を指導する総帥としての地位を確立していました。そこに魅力を感じ

じて「君と僕とが手を組めば日本の実業界は我々ふたりの思うがままになるのではないか」と勢い込んで提携を申し込んだ相手も、渋沢は冷たくしりぞけます。

そして「事業は国利民福を目標とすべきであり、大衆の資金を募って利益は確実に還元すべし、経営者が事業と利益を独占してはならぬ」の言葉通り、創設した会社を支配することなく（10%以上の株をもつことはなく）、たくさんの会社に知恵を貸すが所有したのは2社だけ、むしろ東京商工会議所の会頭として企業家経営者の相談役として尽力したのです。

渋沢の小切手が手に入ると誰もが渋沢との取引があると自慢して信用の保証にするので、なかなか返ってこなかったそうです。

「人の評価は晩年で決まる」は渋沢本人の言葉ですが、晩年、渋沢は演説で「わが生涯は清廉潔白を貫いた」と語り、

「但し女性問題を除いて」と、付け加えたのです。

☆

その渋沢栄一が関東大震災のおりに唱えたのが「天譴論」でした。

ひと言でいえば、人が利己的、傲慢になったから天罰が下ったのだという考えです。

自然災害はまさに人智を超えた、人間の解釈を超えたところで起こるもの。人が善を行おうがそうでなかるうが、起きるときは起きるという考えもあるでしょう。しかし大

きな自然災害を通して、謙虚に自分の生き方を見直す、反省するという渋沢栄一の前向きな姿勢は、未知なる新型コロナウイルスに生じる私たち現代人へのヒントにもなるのではと思います。

厳しい状況がまだ続きますが、いまこの状況を振り返りのチャンスととらえ、渋沢栄一が日本の経済をさらに発展させていったように、次のステージへの礎にしていきたいと願っています。

### 連載 31

#### あやべ ちょっと寄り道

#### 御朱印ならぬ御城印

あやべにある山家城は甲ヶ峯山頂に築かれていましたが、明智光秀の丹波攻略で攻め落とされました。落城後は本能寺の変直後に羽柴（豊臣）秀吉から山家藩主に任じられた谷衛友によって、ふもとに陣屋が構えられ、その地が今も城址公園として残っています。御朱印集めがブームになっていますが「御城印」というものもあるそうですね。お城ファンの期待に応え、またNHK大河ドラマ「麒麟がくる」にあやかり、山家城址の御城印が今年の7月から登場しています。谷衛友の家紋「揚羽蝶紋」と城門のイラストがあしらわれ、駅前前の観光案内所で手に入れることができます。

